

【6】九十九地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい九十九のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年9月8日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは九十九地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う九十九地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 自然に恵まれている
- みんな仲良くまとまっている
- 展海峰から見た九十九島が美しい

【気になるところ】

- 交通の便が悪い
- ごみのポイ捨てが多い
- 子どもが少なくなっている

\\ 皆さんも九十九地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう！ //

問1 九十九島にはもともと百の島がありましたが、一つの島が減った事で九十九島になったと言われてます。その一つ減った島は何島でしょうか？

- ①割島 ②亀子島 ③一里島

問2 佐世保市亜熱帯動植物園では、2007年7月28日にまゆこというコモンリスザルが赤ちゃんザルを産みました。その赤ちゃんザルの名前は何か？

- ①ミート ②ミミ ③ゲンキ

問3 「船越展望所」には、他の展望台にはない2枚の看板が設置されています。そのうちの1枚に九十九島の地図が描かれていますが、この地図は誰が書いたのでしょうか？

- ①松浦丹後守政 ②伊能忠敬 ③松浦鎮信



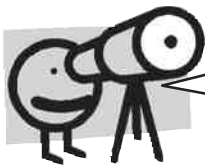
※答えはP8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成19年9月29日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。
さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。
グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。
※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

ごみの分別が
出来ていない



【“みんなにできること”の意見】

- 常に町内で呼びかける
- 間違った分別について町内の回覧に載せる
- 各家庭でよく話し合う

参加した皆さんの感想から

- ◎このような話し合いの場を増やして、みんなが住みやすい環境になってほしい。
- ◎いろいろな意見も聞いて改めて考えることがあった。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、九十九地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。



◎この“お茶の間トーク”での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！◎